

平成30年 6 月 19 日（火曜日）

第 1 号

平成30年第2回北海道議会定例会会議録

第1号

平成30年6月19日（火曜日）

議事日程 第1号

6月19日午前10時開議

日程第1、会議録署名議員の指定

日程第2、会期決定の件

日程第3、議案第1号ないし第8号及び報告第1号

○本日の会議に付した案件

1. 日程第1から日程第3

1. 休会の決定

出席議員（97人）

議長	101番	大谷	亨	君
副議長	70番	勝部	賢志	君
	1番	菊地	葉子	君
	2番	阿知良	寛美	君
	3番	浅野	貴博	君
	4番	安住	太伸	君
	5番	池端	英昭	君
	6番	川澄	宗之介	君
	7番	小岩	均	君
	8番	内田	尊之	君
	9番	大越	農子	君
	10番	太田	憲之	君
	11番	加藤	貴弘	君
	12番	久保秋	雄太	君
	13番	清水	拓也	君
	14番	千葉	英也	君
	15番	塚本	敏一	君

16番	道見	泰憲	君
17番	船橋	賢二	君
18番	丸岩	浩二	君
19番	梅尾	要一	君
20番	菅原	和忠	君
21番	中川	浩利	君
22番	畠山	みのり	君
23番	藤川	雅司	君
24番	白川	祥二	君
25番	新沼	透	君
26番	赤根	広介	君
27番	田中	英樹	君
28番	中野渡	志穂	君
29番	佐野	弘美	君
30番	宮川	潤	君
31番	荒当	聖吾	君
32番	安藤	邦夫	君
33番	山崎	泉	君
34番	佐藤	伸弥	君
35番	沖田	清志	君
36番	笹田	浩	君
37番	松山	丈史	君
38番	市橋	修治	君
39番	稲村	久男	君
40番	梶谷	大志	君
41番	笠井	龍司	君
42番	中野	秀敏	君
43番	野原	薫	君
45番	三好	雅	君
46番	村木	中	君
47番	吉川	隆雅	君

48番	吉田祐樹君	85番	三津丈夫君
49番	佐々木俊雄君	86番	平出陽子君
50番	田中芳憲君	87番	吉田正人君
51番	富原亮君	88番	岩本剛人君
52番	八田盛茂君	89番	遠藤連君
53番	松浦宗信君	91番	加藤礼一君
54番	東国幹君	92番	喜多龍一君
55番	内海英徳君	93番	竹内英順君
56番	大崎誠子君	94番	本間勲君
57番	小畑保則君	95番	伊藤条一君
58番	角谷隆司君	96番	川尻秀之君
59番	小松茂君	98番	神戸典臣君
60番	千葉英守君	99番	高橋文明君
61番	長尾信秀君	100番	和田敬友君
62番	中司哲雄君	欠席議員(1人)	
63番	藤沢澄雄君	44番	花崎勝君
64番	村田憲俊君	欠員(3人)	
65番	北口雄幸君	69番	
66番	小林郁子君	90番	
67番	橋本豊行君	97番	
68番	広田まゆみ君		
71番	中山智康君	出席説明員	
72番	大河昭彦君	知事	高橋はるみ君
73番	志賀谷隆君	副知事	辻泰弘君
74番	吉井透君	同	窪田毅君
75番	真下紀子君	同	阿部啓二君
76番	森成之君	公営企業管理者	浦本元人君
77番	金岩武吉君	病院事業管理者	鈴木信寛君
78番	池本柳次君	総務部長	中野祐介君
79番	滝口信喜君	兼北方領土対策部長	
80番	須田靖子君	本部長	
81番	高橋亨君	総務部職員監	山岡庸邦君
82番	佐々木恵美子君	総務部危機管理監	橋本彰人君
83番	三井あき子君	総合政策部長	小野塚修一君
84番	星野高志君	総合政策部監	黒田敏之君
		交通企画監	

総合政策部
空港戦略推進監 豊島厚二君
環境生活部長 渡辺明彦君
環境生活部
アイヌ政策監 長橋聡君
保健福祉部長 佐藤敏君
保健福祉部
少子高齢化対策監 栗井是臣君
経済部長 倉本博史君
経済部観光振興監 本間研一君
経済部食産業振興監 中田克哉君
農政部長 梶田敏博君
農政部
食の安全推進監 甲谷恵君
水産林務部長 幡宮輝雄君
建設部長 岡田恭一君
建設部建築企画監 平向邦夫君
会計管理者
兼出納局長 小玉俊宏君
企業局長 根布谷禎一君
道立病院部長 田中宏之君
財政局長 森隆司君
財政課長 古岡昇君

教育委員会教育長 佐藤嘉大君
教育部長 坂本明彦君
兼教育職員監
学校教育監 村上明寛君

総務課長 山本純史君

選挙管理委員会
事務局長 森弘樹君

人事委員会
事務局長 山口修二君

警察本部長 和田昭夫君
総務部参事官
兼総務課長 島村諭支敏君

労働委員会
事務局長 成田祥介君

代表監査委員 東陽一君
監査委員事務局
長 佐藤和彦君

収用委員会
事務局長 木村幸子君

議会事務局職員出席者

事務局長 森田良二君

議事課長 木村敏康君

議事課主幹 本間治君

議事課主査 中澤正和君

議事課主任 小倉拓也君

同 古賀勝明君

午前10時7分開会

1. 開 会

○議長大谷亨君 これより、本日をもって招集されました平成30年第2回定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

1. 日程第1、会議録署名議員の指定

○議長大谷亨君 日程第1、会議録署名議員の指定を行います。

会議録署名議員には、会議規則第124条の規定により、

角 谷 隆 司 君
小 松 茂 君
千 葉 英 守 君
長 尾 信 秀 君
中 司 哲 雄 君
藤 沢 澄 雄 君
村 田 憲 俊 君
北 口 雄 幸 君
小 林 郁 子 君
橋 本 豊 行 君
広 田 まゆみ 君
中 山 智 康 君

以上、12人の諸君を指定いたします。

1. 諸般の報告

○議長大谷亨君 諸般の報告をさせます。

〔木村議事課長朗読〕

1. 知事から、議案第1号ないし第8号及び報告第1号ないし第14号の提出がありました。

-
- 議案第 1 号 平成30年度北海道一般会計補正予算（第1号）
議案第 2 号 平成30年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）
議案第 3 号 北海道税条例等の一部を改正する条例案
議案第 4 号 北海道総合政策部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案
議案第 5 号 北海道病院及び診療所の人員及び施設等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
議案第 6 号 旅館業法施行条例の一部を改正する条例案
議案第 7 号 新幹線鉄道の建設に関する工事に伴う地方公共団体の負担金に関する件
議案第 8 号 国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件
報告第 1 号 専決処分報告につき承認を求める件
報告第 2 号 平成29年度北海道繰越明許費繰越計算書報告の件
報告第 3 号 平成29年度北海道事故繰越し繰越計算書報告の件
報告第 4 号 平成29年度北海道電気事業会計予算繰越計算書報告の件
報告第 5 号 平成29年度北海道工業用水道事業会計予算繰越計算書報告の件
報告第 6 号 法人の経営状況に関する件
報告第 7 号 土地信託の事務処理状況に関する件

報告第 8 号 専決処分報告の件
報告第 9 号 専決処分報告の件
報告第 10 号 専決処分報告の件
報告第 11 号 専決処分報告の件
報告第 12 号 専決処分報告の件
報告第 13 号 専決処分報告の件
報告第 14 号 専決処分報告の件

（上の議案及び報告は、報告第 6 号及び第 7 号を除き、巻末議案の部に
掲載する）

1. 各関係執行機関の長から、説明員の委任について通知がありました。

（上の説明員の委任通知は巻末**その他**に掲載する）

1. 監査委員から、監査及び例月出納検査の結果並びに住民監査請求の要旨について報告がありました。

1. 知事から、北海道職員の公務員倫理の確立及び保持に関する状況並びに講じた施策に係る報告、政策評価の結果に関する報告、交通事故の状況及び交通安全施策の概況に関する年次報告、飲酒運転の状況及び飲酒運転の根絶に関して講じた施策の概況に関する年次報告、北海道消費生活条例施行状況報告、農業・農村の動向等に関する年次報告、食の安全・安心に関して講じた施策等に関する報告、水産業・漁村の動向等に関する年次報告、北海道森林づくりの動向等に関する年次報告がありました。

1. 本日の会議録署名議員は、

角 谷 隆 司 議員

小 松 茂 議員

千 葉 英 守 議員

であります。

1. 議長の報告

○議長大谷亨君 この際、御報告いたします。

議員派遣の決定については、会議規則第126条第3項の規定により、お手元に配付のとおり、議長において決定いたしました。

以上、御報告いたします。

（上の議員派遣の件は巻末**その他**に掲載する）

○大谷亨議長 この際、去る3月13日、逝去されました布川義治議員に弔意を表するため、勝部賢志君より発言を求められておりますので、これを許します。

勝部賢志君。

1. 布川義治議員逝去に対する追悼演説

○70番勝部賢志君（登壇）私は、北海道議会を代表し、去る3月13日に御逝去されました北海道議会議員布川義治先生のありし日の面影をしのび、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

布川先生は、本年2月、第1回北海道議会定例会招集日には、いつもと変わらぬお姿で出席され、議場コンサートに出演された札幌市立手稲東中学校合唱部の生徒さんに、「いらっしゃい、みんな元気だね」と声をかけられ、温かい笑顔で迎えておられました。

そのお姿は、既に病魔に侵され、身動きすることさえつらい状態であったはずなのに、そのことを全く想像させないほど、元気な御様子でした。

今思えば、そのつらさを押し隠して御出席になり、訪れた生徒たちと声を交わすことで、病魔と闘う気力を奮い立たせておられたのかもしれない。

その後、代表質問が始まったころに、布川先生のお姿が議会で見られないことに気づき、会派の方や事務局に問い合わせたところ、「検査入院をしている」という返事でありました。

北海道大学病院に検査入院した後、自宅で療養されているということでしたので、それほどまでに病魔に侵されているとは思ってもよらず、そのうちに、「おはよう」と、元気な顔を見せてくれるものと信じておりました。

しかし、議会は後半になり、議会を全休するとの届けが出されているということを知り、にわかにかに病の重さを知ることとなりました。

それからわずか数日のうちに、容体は急変し、3月13日、午前4時30分、帰らぬ人となりました。

その知らせを聞いた私は、驚きと悲しみで言葉を失い、ただただ茫然と時を過ごしました。つい先日までお元気でいられたのに、なぜこんなにも早く逝ってしまわれたのか、これが夢であってほしい、うそであってほしいと願わずにはいられませんでした。

本日、第2回定例会が開会いたしました。私には、先生が、この議場に、片手を挙げ、笑みをたたえて元気なお姿を今にもあらわすように思えてなりません。

おらかなお人柄、笑みを絶やさぬ温厚で細やかな心配り、厳しくとも人情味あふれた先生のお姿を思い起こすとき、言葉にあらわすことのできない悲しみが込み上げてまいります。

先生は、責任感と人一倍の気配りの方でしたから、苦しみを表に出すことはなく、病気の進行を感じていながらも、そのことはおくびにも出さず、一人敢然と病魔と闘ってこられたのです。

諸行無常は世の常と申しますが、余りにも非常な、余りにも早いお別れに涙をこらえることができません。

最愛の家族を残し、志半ばにしてこの世を去らなければならなかったことは、さぞかし歯がゆく、無念であったことと思うと、胸が張り裂けそうな思いであります。

布川先生と私との出会いは、今から16年前にさかのぼります。

私が道議会議員選挙に立候補することが決まり、挨拶回りなどを始めた平成14年の秋ごろだったと思います。現職である布川先生に御挨拶をと伺ったときが最初の出会いでした。

布川先生は、事務所に一人で待っていてくれて、「森さんの後釜だな、どうぞよろしく」と、気さくに声をかけてくれました。それから30分程度、江別の道政課題や江別市の状況について話されました。別れ際に、「俺も森さんにはお世話になったんだ」と言って、「頑張りましょう」と力強く手を握ってくれました。

それが布川先生との最初の出会いでしたが、当選後も、そのときと同様に、いやそれ以上に、お互いの立場を尊重しつつも、親しく、そして優しく接していただきました。

「賢ちゃん、俺は全く心配のない男だから」と言って、何でも相談に乗っていただきましたし、「北海道、江別のために一緒に頑張ろう」と声をかけてくれました。

16年続いたそのおつき合いも、もうこれからはできないのかと思うと、悲しくて、残念でなりません。

「挨拶は短く、幸せは長く」は、布川先生の口癖で、毎年、新年会や総会シーズンには、このフレーズで出席者を和ませていました。そうかと思えば、曲がったことや間違っていると思うことには、毅然と語気を強めて語る厳しい面もあり、市民からの信頼は絶大なものがありました。

その布川先生が亡くなられたことは、御家族はもとより、江別市民にとって深い悲しみであり、哀惜の念にたえません。

ここで、布川先生の経歴をたどってみたいと思います。

布川先生は、昭和24年11月21日、江別市でお生まれになり、その後、都市と自然が調和する江別市において、小学、中学の多感な少年時代を過ごされました。北海高等学校を経て、昭和48年に北海学園大学を御卒業後、丸二北海煉瓦株式会社に勤められました。

先生は、昭和62年から2期8年にわたり、江別市議会議員を務められ、その間、総務文教委員長の要職を担われ、江別市発展の大きな礎を築かれました。

その後、平成11年4月、大願成就し、北海道議会議員選挙に初当選され、以来、5期連続当選、19年の長きにわたり、北海道の発展と道民福祉の向上のために心血を注いでこられました。

北海道議会議員として、経済委員会副委員長、保健福祉委員会副委員長、総務委員会委員長、北方領土対策特別委員会委員長、自民党・道民会議議員会長に就任されるなど、数々の要職を歴任され、その高邁な政治理念とすぐれた政治手腕をもって、道政上の諸課題への対応など、道議会に多大な功績を残されております。

平成21年6月に就任された総務委員会委員長時代は、世界同時不況による厳しい経済・雇用情勢、新型インフルエンザの流行など、国民、道民にとりましても激動の時代でありました。

そのような中、北海道においては、道財政の厳しい状況が続いており、新たな行財政改革に向

けた道議会内における数々の困難な審議に対し積極的に取り組まれるとともに、道民の安全、安心の確保に向けた消防防災体制の強化や犯罪の撲滅など、誰もが安心して暮らせる社会の形成のため、さまざまな課題に精力的に取り組まれてきました。

7年間在籍した北方領土対策特別委員会では、委員長に就任され、北方領土の復帰促進や北方領土周辺における漁業の安全操業対策に尽くされた御功績は誰もが認めるところであります。

特に、当時の北方領土の情勢については、ロシア大統領が、ソ連時代を含め、国家元首として初めて北方領土を訪問したのに続き、多くの閣僚や政府関係者が訪れたのを初め、中国や韓国に対して北方四島への投資を呼びかけすることや、北方四島における軍備の近代化を推し進めることなど、北方領土の支配強化に向けた動きが活発化しました。

このため、布川先生は、領土交渉の停滞が懸念されることに強い義憤を感じ、「北方領土問題の解決促進等に関する意見書」を可決させるとともに、強力な外交交渉を進めるよう関係大臣に強く要請するなど、北方領土問題の早期解決に向けて多大な御尽力をされたのであります。

とりわけ、布川先生は、返還要求運動の諸行事へ積極的に参加され、領土問題の解決に向けた環境整備に少しでも貢献できればとの思いから、ビザなし交流に何度も参加されておりました。

今、北海道は、超高齢・人口減少社会の危機に直面する中で、厳しい試練のときを迎えておりますが、道民の皆様の英知を結集して、この超高齢・人口減少がもたらす問題に果敢に立ち向かっていかなければなりません。

道政の各般にわたり多くの課題が山積しているこのときにあって、先生の卓越した見識とすぐれた行動力に大きな期待が寄せられていました。

このような重要なときに、布川先生を失いましたことは、御遺族にとっての御不幸であることはもちろんであります。道議会はもとより、北海道民にとっても大変大きな損失であり、痛恨のきわみであります。

今から17年前、江別市選出の道議会議員で、現職で亡くなられた、私の前任者である、森敏捷道議の追悼演説を行ったのは布川先生でした。その布川先生の追悼演説を、今度は、この不肖私が執り行うことになろうとは夢にも思いませんでしたが、これも運命のいたずら、くしくもこのような任を仰せつかることとなりました。

多くの人々から慕われ、頼りにされていた布川先生。

あなたの政治家人生はまだ道半ばではありましたが、多くの政治課題に全身全霊で取り組まれたお姿は、長く道民の心に残るものであり、まさに見事な政治家魂を発揮されました。

これからも、天上から、江別市を初め、北海道のそれぞれの地域を温かく見守られ、北海道の限りない未来に確かな道しるべを指し示していただきますよう、お願いいたします。

残された私たちは、布川先生のとうとい御遺志をしっかりと受け継ぎ、誰もが夢と希望を持ち、安心して暮らしていける北海道を築くために、北海道議会の使命を全力で果たしてまいり決意でございます。

今はただ、心から御冥福をお祈り申し上げますとともに、愛してやまなかつた御家族の皆様の

前途に限りない御加護を賜りますようお願い申し上げ、北海道議会を代表して、お別れの言葉といたします。

布川先生、どうぞ安らかにお眠りください。

平成30年6月19日

北海道議会議員 勝 部 賢 志

1. 布川義治議員逝去に対する黙禱

○議長大谷亨君 この際、布川義治議員の逝去を悼み、弔意を表するため、黙禱をささげたいと思います。

御起立を願います。

黙禱。

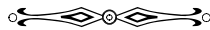
[全員起立・黙禱]

○議長大谷亨君 黙禱を終わります。

御着席を願います。

議事進行の都合により、暫時休憩いたします。

午前10時26分休憩



午前11時1分開議

○議長大谷亨君 休憩前に引き続き、会議を開きます。

1. 日程第2、会期決定の件

○議長大谷亨君 日程第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から7月6日までの18日間といたしたいと思っております。

これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長大谷亨君 御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

1. 日程第3、議案第1号ないし第8号及び報告第1号

○議長大谷亨君 日程第3、議案第1号ないし第8号及び報告第1号を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

知事高橋はるみ君。

1. 議案第1号ないし第8号及び報告第1号に関する説明

○知事高橋はるみ君（登壇）ただいま議題となりました平成30年度補正予算案並びにその他の案件について、その大要を御説明申し上げます。

まず、議案第1号及び第2号の補正予算案は、緊急に措置を要する経費について、所要の予算措置を講じようとするものであり、一般会計及び特別会計を合わせて、その総額は、41億7000万

円となっております。

以下、歳出予算の主なものについて申し上げます。

まず、首都圏等の若者と地域とのつながりを深めるため、市町村と連携して、地域のイベントなどへの参加の機会を提供することとし、所要の予算措置を講じることといたしました。

次に、エゾシカの食肉利用を拡大するため、狩猟者の技能取得を促進するほか、食肉処理施設への搬入や廃棄物処理に要する経費に対して支援することとし、

エゾシカジビエ利用拡大推進事業費	1億2100万円
------------------	----------

を計上するとともに、中山間地域において、高収益な作物への転換を図るため、農業者団体等が行う基盤整備等に対して支援することとし、所要の予算措置を講じることといたしました。

次に、水産業の持続的な生産体制を構築するため、共同利用施設の整備に対して支援することとし、

水産業振興構造改善事業費	5億9500万円
--------------	----------

を計上するとともに、

昨年12月に発生した風浪により被災した施設の早期復旧を図るため、

災害復旧事業費	10億900万円
---------	----------

を計上いたしました。

これらに見合う一般会計の歳入予算の主なものといたしましては、

国庫支出金	39億2400万円
-------	-----------

道債	1億9200万円
----	----------

を計上いたしました。

次に、その他の案件の主なものについて申し上げます。

まず、議案第3号は、地方税法の改正に伴い、個人の道民税、道たばこ税等について、所要の改正を行おうとするものであり、

議案第6号は、旅館業法施行令の改正等に鑑み、旅館業の施設の構造設備等の基準を改正しようとするものであります。

次に、報告第1号は、北海道税条例の一部改正について、急施を要するため、専決処分したので、その承認を求めようとするものであります。

以上、今回提案いたしました案件の主なものについて、その大要を御説明申し上げます。

よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

1. 休会の決定

○議長大谷亨君 お諮りいたします。

議案等調査のため、6月20日から6月21日まで本会議を休会することにいたしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長大谷亨君 御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

以上をもって本日の日程は終了いたしました。

6月22日の議事日程は当日御通知いたします。

本日は、これをもって散会いたします。

午前11時7分散会